

## 式 辞

暖かな、早春の日差しを受けて、モクレンの花が咲き、確かな春の訪れを感じる季節となりました。本日、稲浜中学校の卒業式にご列席いただきました保護者の皆様方のお喜びと感慨は、ひとしおのことと存じます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日ここに平成から令和と九年間の義務教育を修了したことになります。卒業後のそれぞれの進路に対する夢と希望は確かに自分の中にあるでしょうか。

私は、3年前に卒業生の皆さんと共に稲浜中学校に校長として着任し、入学式で初めて新入生として皆さんを迎えました。共に過ごしたこの3年間、皆さんの成長を見届けながら日を重ねてきました。その皆さんが卒業だと思えば大変感慨深いものがあり、また、この3年間を振り返ると、懐かしさと共に寂しさを感じます。

さて、この一年間は、新型コロナウイルスが感染拡大し、世界中で感染した方が多く亡くなりました。私達はその新型コロナウイルス感染を防止し、自分たちの命を守るために、令和2年3月から5月まで3カ月間の長い

休校を経験しました。その後、6月に再開した学校生活は、皆さんに忍耐と感染拡大防止のために慎重かつ細かな対応を求められる苦しいものでした。さらに、大変貴重な機会を多く失うことになりました。友達との学校生活と楽しみにしていた数々の行事、努力を続けた部活動の発表や成果を試す場も失いました。最高学年となったのに先輩としての役割をなかなか果たす場もなく、悲しくて、やり場のない切なさを良く耐え忍びましたね。

このような日々の中で私達は一丸となり、今、出来る事を見つけ出し、最大限の努力をし、学校の良さを再確認することが出来ました。

部活動引退式では後輩達が頑張った3年生の姿に拍手を送りました。リモートで行いましたね。

体育祭も中止にする学校がある中、工夫して実施しました。卒業生の皆さんが、初めて最高学年としての姿を後輩達に見せてくれたのも体育祭でした。皆さんの活躍をする姿に保護者の方々も安心したようでした。

京都・奈良への修学旅行は2度の延期を経て中止となる中、方面を変えて信州への修学旅行を実現しました。初日に全員で行った上高地は、十一月には珍しい、温暖な気候の中、青い空と遠くに雪を抱く穂高連峰が私達を

歓迎してくれました。

先日行われた3年生を送る会も1・2年生は楽しみにしていた校外学習が中止となる中、これだけは成功させて、3年生への感謝の思いを伝え、自分達の成長を見てもらおうと頑張ってくれました。そこには確かに稲浜中学校の伝統が受け継がれていました。それは最上級生の卒業生の皆さんが、しっかりと稲浜中学校を支える柱としての役目を3年間で果たしてくれたからこそ実現した事です。皆さんの中には、誰にも消せない心のアルバムがしっかりと存在していると思います。私の中にも確かに存在しています。特別な時間をありがとうございました。

このように、コロナ禍の中、私達に忍耐力を身につけさせ、これまでにない「学校の新しい生活様式」を考え、良い取り組みを探し出す力をも身に付けさせてくれました。この経験は、必ず皆さんを支えてくれるときが来ます。自信を持って前に進んでください。

過去は変えられませんが、未来は変えられるのです。新しい自分にもなる事が出来るのです。

また、東京オリンピック・パラリンピック2020が

1年延期され、今年開催の予定です。そこには、「多様性」というこれからの時代には忘れてはならない価値観を私達に定義してくれました。「多様性」とは、「ジェンダーフリー」や「障害を持つ人も出来る。」等のことだけではなく、「誰もが違っていい。でも誰もが同じことをすることが出来き、誰もが尊敬される存在であるということです。」オリンピック・パラリンピックマークにも多様性の意味がしっかり込められていましたね。「多様性」という言葉を忘れないでください。

来年の2022年4月1日より成人年齢が引き下げられ18歳が成人となります。卒業生のみなさんは高校に進学して、数年後には社会参画し、大人として良い日本を作っていく使命を帯びます。そのことを考えると決めた進路先でこれからどのように生きていくかが重大なことになると思います。自分の未来を切り開いていくのは自分にしかできません。しっかりと自立心を身につけてください。

終わりになりましたが、保護者の皆様にはこころよりお祝いを申し上げます。また、これまでの三年間、絶えず本校の教育へご理解とご支援を寄せていただきまし

たことに深く感謝申し上げます。稲浜中学校での3年間は卒業する生徒達のこれからの人生の礎（いしずえ）となることが出来たならば幸いです。

本来ならば、千葉県教育委員会、ご来賓の方々、そして、学校生活において、稲浜中学校の伝統を卒業生の皆さんから引き継いでいく後輩たちが式に参列し、卒業の門出を祝うはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式の出席者を制限し、式次第を削って短時間で実施することになり、卒業生の皆さん、保護者の皆さんには大変申し訳ない気持ちで一杯です。私達職員一同も同じ思いです。しかし、このような経験をしたからこそ身につけた力を発揮しながら、私達は日本人としての誇りを持ち、この難局を乗り越え、明日に向かって進まなければなりません。卒業生の皆さんのこれからの活躍を期待すると共に稲浜中学校を発展させていくため、更に尽力することを誓い式辞といたします。

令和三年三月十二日

千葉県立稲浜中学校長 川崎 康範